

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ（歯科・整形外科外来/病棟）

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2015年 4月 1日～ 2020年 3月 31日の期間に当院にて顎骨壊死と診断され、治療を受けた、後期高齢者医療制度被保険者の患者さん			
② 研究課題名	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する疫学調査に関する研究			
③ 実施予定期間	2022 年 6 月 ～ 2024 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	中川 豪	所属	呉中通病院 院長
⑥ 当院の研究責任者	氏名	奥村 俊哉	所属	呉医療センター 歯科・口腔外科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、住所(町名まで)、保険種類、発生確認日、紹介元、医科歯科連携の有無、発生確認から治療施設紹介までの期間、発生部位、X線所見、臨床所見、骨吸収抑制薬投与の有無と投与期間、骨吸収抑制剤の種類、原疾患、顎骨壊死分類、骨吸収抑制薬の休薬、発症契機、発症危険因子、治療内容及び経過 ※上記診療情報は、研究終了後5年間厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 呉市地域保健対策協議会「骨粗しょう症地域包括医療体制検討小委員会」によって保管されます。 ※登録されたデータを利活用して医学研究を実施する際には、呉市地域保健対策協議会「骨粗しょう症地域包括医療体制検討小委員会」が審査の上、呉市医師会、呉市歯科医師会、呉市薬剤師会会員および呉市行政がこれを利用します。			
⑧ 目的	骨粗鬆症の放置は骨折の連鎖を起し多くの方の健康寿命を損なう大きな原因となっています。骨粗鬆症の治療は健康寿命の延伸のためとても重要ですが、骨粗鬆症に対して有効性の高い骨吸収抑制剤の合併症のひとつに“顎骨壊死”があります。骨吸収抑制剤は骨粗鬆症のみならずがんの治療にも用いられます。顎骨壊死の発生をできる限り抑えるため、呉市では医師会と歯科医師会が連携し治療開始前に歯科治療をおこない、治療後も口腔ケアを定期的に行うようにしています。 この研究の目的は、2015年からの5年間、継続的に呉市にある3口腔外科の骨吸収抑制剤関連顎骨壊死の発症数と発症率を推測し、2017年3月より本格的に始まった医科歯科連携の効果を評価することです。			
⑨ 方法	呉市3口腔外科のカルテデータより呉市の国保・後期高齢者医療制度被保険者で顎骨壊死を発症した人数を抽出し発症率を経年的に検討し、2017年3月より始まった医科歯科連携での口腔ケアによる顎骨壊死の予防効果を評価します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022 年 6 月 15 日		
	院長承認日	2022 年 6 月 15 日		
⑪公表	個人情報保護は確保したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	奥村 俊哉	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 歯科・口腔外科			

呉医療センター院長